

Copyright © 2009  
All Right Reserved - Printed in China

T1028 シリーズ TouchNoteユーザーマニュアル

初版: 2009/07

本マニュアルでは、新しいTouchNote PCのセットアップと使用について説明します。本マニュアルに記載されている情報はチェックされたものですが、予告なしに変更することがあります。

本マニュアルのいかなる部分も、書面による事前の同意なしに、電子、機械式、複写、記録、その他を含むすべての形態や手段で、複製、検索システムへの保存、または送信することは禁止されています。

#### 商標

記載されている製品名は製品を特定するためのものであり、各社の商標です。

Microsoft®、MS-DOS、Windows®、およびWindows® Sound Systemは、Microsoft Corporationの商標です。

Intel®、Atom™は、Intel Corporationの登録商標です。

Sound Blaster、Sound Blaster Proは、Creative Technologyの商標です。

本マニュアルに記載されているその他のブランドまたは製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 安全に関する注意事項

次に記載する安全上のガイドラインに従って、TouchNoteを安全に使用してください。

T1028 シリーズ TouchNoteコンピュータを使用するとき



警告:ポータブルコンピュータを体に乗せたまま長時間使用しないでください。長時間使用すると、コンピュータの下部に熱がこもります。皮膚に長時間触れると、不快になったり火傷をすることがあります。

- ご自分でTouchNoteの修理を行わないでください。必ず取り付け説明書に従ってください。
- (車のキーなどの)金属がバッテリー端子と短絡することがあるので、バッテリーは、ポケット、バッグ、その他の容器に入れて持ち歩かないでください。電流が大量に流れて高温となり、火傷をすることがあります。
- ACアダプターの電源ケーブルの上に乗せないでください。また、つまづいたり、踏まれる恐れのある場所に、電源ケーブルを置かないでください。
- コンピュータを使用したりバッテリーに充電する際は、ACアダプターを机の上か床などの換気のよい場所に置いてください。ACアダプターの上には、紙や換気の妨げとなるものを載せないでください。また、ACアダプターを携帯用ケースに入れたまま使用することは避けてください。
- TouchNoteコンピュータの換気口に異物を差し込まないでください。差し込むと短絡を起こし、火事や電気ショックを起こすことがあります。
- TouchNoteのメーカーにより提供されるACアダプターおよびバッテリーのみを使用してください。その他のバッテリーやACアダプターを

使用すると、火災や爆発を起こす恐れがあります。

- バッテリーを間違っ取り付けてと爆発する恐れがあります。
- 交換する場合は、同じ種類のバッテリーまたはメーカー推奨の互換性のあるバッテリーのみを使用してください。
- 使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。
- TouchNoteを電源に接続する前に、ACアダプターの定格電圧と使用する電源の定格電圧が一致していることを確認します。
  - 115 V/60 Hz - 北米・南米および韓国を含む一部の極東地域。
  - 100 V/50 Hz - 東日本、100 V/60Hz - 西日本
  - 230 V/50 Hz - ヨーロッパ、中近東、極東地域
- ACアダプターに延長コードを使用する場合、延長コードにつないでいる全デバイスの総定格アンペアがコードの総容量を超えないように確認します。
- TouchNoteからバッテリーを取り外す場合、最初に本体をオフにしてACアダプターをコンセントから外してから、バッテリーを取り外します。
- 電気ショックを避けるために、雷雨時には、ケーブルの接続や取り外し、本製品の保守や再構成は避けてください。
- バッテリーは火中に投げ込むと爆発する恐れがあるので、投げ込まないでください。バッテリーの廃棄に関しては、地方自治体に確認してください。
- TouchNoteをセットアップする際には、表面が平らな場所で行ってください。

- 飛行機で旅行する際、お使いのTouchNoteを手荷物として預けないでください。TouchNoteはX線のセキュリティ装置の影響は受けませんが、金属探知器は避けてください。手荷物として機内に持ち込む場合は、TouchNoteのスイッチを入れるように注意された際に備えて、充電したバッテリーを用意してください。
- TouchNoteのハードドライブを取り外して旅行する場合は、布や紙などの絶縁材でドライブを包んでください。手荷物として機内に持ち込む場合は、ドライブをTouchNoteに取り付けるよう注意されることがあります。ハードドライブはX線のセキュリティ装置の影響は受けませんが、金属探知器は避けてください。
- 機内の荷物棚の中に入れてと動くことがあるので、TouchNoteは荷物棚に入れてください。TouchNoteを落としたり、衝撃を与えないようにしてください。
- TouchNote本体、バッテリー、およびハードドライブを保管する際は、ゴミ、埃、食べ物、液体、極端な気象状況、および直射日光を避けてください。
- 温度や湿度が大きく異なる環境にTouchNoteを移動する場合、本体の内部や外部に結露ができることがあります。TouchNoteが損傷しないように、水分が完全に蒸発してから使用してください。

注意:TouchNoteを寒い場所から暑い場所へ移動する場合、またはその逆の場合は、TouchNoteが新しい環境に十分慣れるまで待ってから電源を入れてください。

- 電源コードを抜く場合は、電源コード自体ではなく、コネクタまたは張力のがしループを引き抜きます。コネクタを引き抜く場合は、接続ピンを曲げないよう均等に力を入れて引き抜きます。また、電源コードを接続する前に、コネクタが正しい方向になっていること、整列していることを確認します。

- TouchNoteを掃除する場合は、まず、電源から抜き取り、さらにバッテリーを取り外して電源を切ります。
- 内部コンポーネントは慎重に取り扱ってください。コンパートメントを取り外す場合、(メモリモジュールなどの)接続ピンではなく端を掴みます。



電話装置を使用する場合、火事、電気ショック、怪我を避けるために、必ず下記の安全に関する注意事項に従ってください。

- 本製品は、浴槽、洗面台、キッチン/洗濯槽、濡れている地下室、プールなどの水のそばで使用しないでください。
- 稲光で電気ショックが起きることがあるので、雷雨の際にはコードレス電話は使用しないでください。
- ガス漏れの場合は、その近くで電話を使用しないでください。

#### 警告: 保証の失効

- \* バッテリーは適切に処理しないと爆発する恐れがあるので、必ず同じ種類または互換性のあるバッテリーを使用してください。
- \* 使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。
- \* ひびが入っている、ひどく傷が付いている、または劣悪な品質のディスクを使用すると、光学式ドライブが破損し、ディスクのデータが破壊されることがあります。ドライブが高速で作動すると、この種のディスクは破損することがあります。このような場合には、お使いの製品の保証は無効となります。

## 規制に関する注意

### 米連邦通信委員会(FCC)の通達

本装置は、テストの結果、FCCルールPart 15のClass Bデジタルサービス向けの規制に準拠しています。これらの規制の目的は、住宅への設置で発生する有害な干渉に対する合理的な保護手段を提供することです。

本装置を変更したり改善した場合、本装置の操作権限は失効します。本装置は無線周波エネルギーを生成、使用、さらに放出することがあります。説明書に従って設置/使用しない場合、無線通信に有害な干渉をもたらすことがあります。特定の方法で取り付けられた場合、この干渉を防止できるという保証はありません。本装置のためにラジオやテレビの受信が妨害された場合は、本装置のスイッチを切って実際に妨害しているか確認し、以下のいずれかの方法で問題を解消してください。


- 受信アンテナの方向を変えるか、位置を変える。
- 装置とレシーバを離す。
- レシーバを接続していない回路のコンセントに装置を接続する。
- 取扱店または熟練したラジオ/TVの技術者に相談する。
- 基本装置に接続している外付けケーブルを遮蔽する。  
PCMCIAカードに接続しているケーブルに関しては、オプションのマニュアルまたは取り付け説明書を参照してください。

### RF暴露

本装置は付属の操作説明書に従って操作する必要があります。他のアンテナや送信機と同じ場所に配置したり操作しないでください。エンドユーザーとインストーラーは、RF暴露順守を満足させるために、アンテナ取付指示と送信機の操作条件を提供する必要があります。

SAR値:0.323 W/Kg

## CE通告(欧州連合)

このマークは、T1028 シリーズ TouchNoteコンピュータがEMC指令および欧州連合の低電圧指令に準拠していることを示すマークです。また、このマークはT1028 シリーズが以下の技術基準に合致していることも示すものです。

- EN 55022 — 「IT装置の電波干渉の制限と測定メソッド」。
- EN 55024 — 「IT装置 - 電波波耐性 - 測定の限界とメソッド」。
- EN 61000-3-2 — 「電磁波互換性(EMC) - 第3章: 制限 - セクション2: 高調波放射の制限(装置の入力電流は最高16 A/位相)」。
- EN 61000-3-3 — 「電磁波互換性(EMC) - 第3章: 制限 - セクション3: 定格電流が最大16 A以内の装置向けの電圧変動と低電圧電源システムのフリッカに関する制限」。
- EN 60950 — 「IT装置の安全性」。



メモ: EN 55022放射要件は次の2種類に分類されています。

- Class A - 商業用
- Class B - 住宅用

## CBの場合:

- バッテリーはこのコンピュータ向けに設計されたのもののみを使用してください。正しいバッテリーを使用しないと爆発、液漏れまたはコンピュータの損傷の危険があります。
- 電源がオンになっているとき、コンピュータからバッテリーを取り外さないでください。
- 落としたり、損傷していると思われる(曲がったりよじれている場合など)バッテリーを引き続き使用しないでください。損傷したバッテリーを装着している場合、たとえコンピュータが作動していても

回路が損傷し、火災を引き起こすことがあります。

- ノートパソコンのシステムを使用してバッテリーを充電してください。充電方法を間違えると、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- バッテリーパックを修理しないでください。バッテリーパックの修理や交換については、サービス代理店または専門技術者にお問い合わせ下さい。
- 損傷したバッテリーはお子様の手の届かないところに置き、速やかに廃棄してください。バッテリーを廃棄する際は、常に注意を払う必要があります。バッテリーを火に投じたり、不適切に処理または廃棄すると、爆発または液漏れの危険があります。
- バッテリーは金属装置に近づけないようにしてください。
- バッテリーを廃棄する前に、バッテリー端子にテープを貼ってください。
- 手または金属物体でバッテリー端子に触れないでください。

## バッテリーの廃棄と警告

ご購入された製品には充電式バッテリーが付属しています。バッテリーはリサイクル可能です。耐用年数が過ぎた後、州法および地域法に従って廃棄してください。このバッテリーを都市ごみとして廃棄することは違法です。地域のリサイクル方法と適切な廃棄について、詳しくは地方自治体の担当部署にお問い合わせ下さい。

---

バッテリーを正しいものと交換しないと爆発の危険があります。交換する際は、メーカーが推奨するバッテリーと同じものまたは同等のものだけを使用するようにしてください。使用済みのバッテリーは、メーカーの指示に従って廃棄してください。

#### **BSMI**通告(台湾のみ)

ほとんどのTouchNoteコンピュータは、BSMIのClass B ITEに分類されています。



R32323

上記のマークを製品に添付し、BSMI基準に準拠していることを示さなければなりません。





## はじめに

TouchNoteコンピュータを購入いただきまして誠にありがとうございます! 新しいTouchNoteは、最新のポータブルコンピューティング技術を装備しています。Netbookは最先端のエルゴノミクスと洗練されたアーキテクチャを組み合わせ、コンパクトでパワフルな使いやすいパーソナルコンピュータです。広範囲な汎用、ビジネス、パーソナルな生産性アプリケーションとして設計されたTouchNoteは、オフィスでも家庭でも、さらに旅行時にも最適なコンピュータです。

このマニュアルには、TouchNoteコンピュータをセットアップしたり使用するのに必要なすべての情報が含まれています。本装置の機能をあますところなく、しかも読みやすく説明しています。



# 目次

安全に関する注意事項 .....	I
規制に関する注意 .....	III
はじめに .....	VII

第1章 T1028 シリーズ TouchNoteについて	
1.1 パノラマビュー .....	2
1.2 左側面 .....	3
1.3 右側面 .....	3
1.4 カバー側 .....	4
1.5 底面側 .....	4
1.6 ステータスインジケータ .....	5
1.7 電源のオン/オフ .....	6
1.8 キーボードの機能 .....	6
1.9 タッチパッドの使用 .....	8
1.10 内蔵カメラの使用 .....	8
1.11 音声の使用 .....	8
1.12 ワイヤレスLANの使用 (WLAN) .....	9
1.13 バッテリーパックの使用 .....	9
1.14 ACアダプターの接続 .....	10
1.15 T1028 シリーズデバイスドライバのインストール .....	11
1.16 Touch Screenの調整 .....	11
1.17 T1028 シリーズをタブレットPCとして使用する .....	12
1.18 動作温度: .....	12

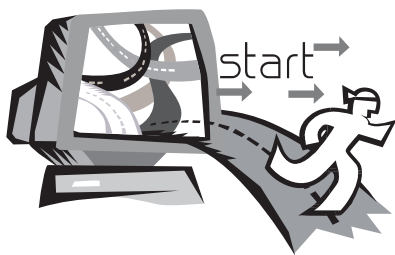
第2章 バッテリーについて	
2.1 バッテリーパック .....	14
2.2 バッテリーパックの充電 .....	14
2.3 Q&A .....	14
2.4 バッテリーの保守 .....	15
2.5 消費電力 .....	15
2.6 消費電力の削減 .....	15
2.7 バッテリーパックの取り外し .....	16
2.8 本体をACアダプターと接続する .....	16
2.9 バッテリー容量検査 .....	16

第3章 BIOSセットアッププログラムについて	
3.1 BIOSセットアップユーティリティの使用 .....	18
3.2 メインメニュー .....	19
3.3 詳細メニュー .....	20
3.4 セキュリティメニュー .....	20
3.5 起動メニュー .....	21
3.6 終了メニュー .....	22

## 第4章 Smart Managerについて

第5章 トラブルシューティング / Q&A	
5.1 トラブルシューティング .....	30
5.2 Q&A .....	33

付録I 仕様	
付録II XPRESS RECOVERY 3 Lite について	
付録III サービスセンター	



## 第1章 T1028 シリーズ TouchNoteについて

本章では、ACアダプターの接続、コンピュータの電源を入れる方法、タッチパッド、キーボード、ホットキー、バッテリーなどの使用を始めとする、T1028 シリーズ TouchNoteコンピュータの操作方法について説明します。コンピュータとOSを初めて使用する場合、この章で新しい、エキサイティングな機能を学習できます。

## 1.1 パノラマビュー



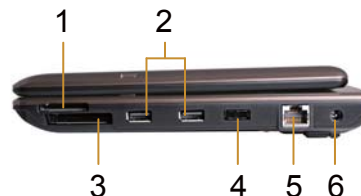
番号	アイテム	機能
1	Webカメラ	内蔵1.3Mカメラ。
2	LCD	システムから出力されるコンテンツを表示する。
3	キーボード	文字と数字を入力する。
4	システムLED (x5)	5つのLEDライトによるシステム信号 左から右へ Bluetooth信号 WLAN信号 HDD信号 バッテリー信号 電源オン信号
5	タッチパッド	マウスと同じ機能。
6	スタイラス ペンスロット	スタイラスペンを収納しておきます。
7	Num. Lock、Caps Lock & 3.5G LED	Num. Lock、Caps Lock & 3.5G LEDライト。(詳細は、マニュアル5ページのLEDランプ表示の説明をご参照ください。)
8	内蔵マイクロホン	内蔵マイクロホン

## 1.2 左側面



番号	アイテム	機能
1	VGAポート	VGAモニタを接続します。
2	USBポート	周辺装置をUSBインターフェイスに接続します。
3	換気口	ノートPCから熱を放出します。
4	機能ボタン	<p>ファンクションキー</p> <p>a). バッテリー装着時は、システムがシャットダウン/スタンバイ/休止モードの時に「ファンクションキー」(function button)を押すと、電池残容量が表示されます。</p> <p>b). システムが起動中：DOS上では「ファンクションキー」(function button)は無効です。Windows上では「ファンクションキー」(function button)を押すと、Smart Managerプログラムがオン/オフされます。</p>
5	イヤホンジャック	音声出力用装置を接続します。
6	MICジャック	マイクを接続してオーディオ信号を入力します。

## 1.3 右側面



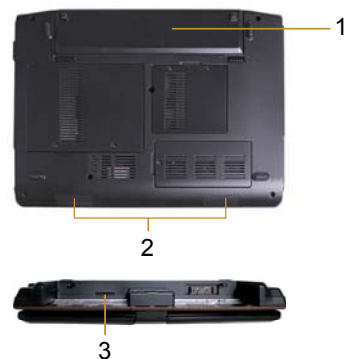
番号	アイテム	機能
1	メディアカードスロット	SD/MMC/MS/MS Proカードが使用可能です。
2	USBポート	周辺装置をUSBインターフェイスに接続します。
3	Express Card スロット	高速カードを接続します。
4	パワーキー	本体の電源を入れます。
5	LAN RJ45ジャック	LANに接続します。
6	DCイン用穴	ACアダプターをT1028シリーズ TouchNoteの電源に接続します。

## 1.4 カバー側



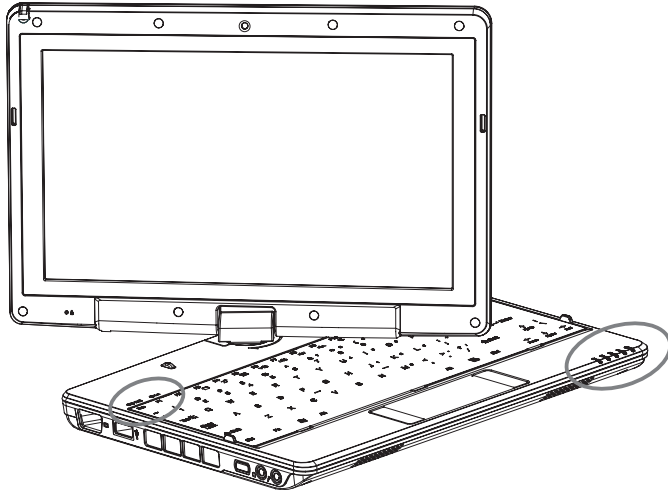
番号	アイテム	機能
1	カバー	本体を保護します
2	軸	LCDパネルを180度回転させることが可能です。









## 1.5 底面側



番号	アイテム	機能
1	バッテリーパック	バッテリーコンパートメントに取り付け、AC電源を取り外した場合に本体に電源を供給します。
2	スピーカー	システム音声が出力されます。
3	USIMカードスロット	USIMカードを差し込み、HSPDAデータ通信機能を起動する。(オプション)

## 1.6 ステータスインジケータ



アイコン	アイテム	機能
	BluetoothのLED	このLEDは、Bluetoothが有効になっているときに点灯される。
	ワイヤレスLAN	このLEDは、ワイヤレスLANの電源がオンになると点灯します。
	HDD	ハードディスクの読み取り中/ハードディスクへ書き込み中
	バッテリーのステータス	ブルーオフ 充電が完了した、または本体の電源にACアダプターを使用していない。
		ブルー点滅 バッテリーの充電中。
	電源ステータス	ブルーオフ システムの電源が切れている、またはハイバネーションモードである。
		ブルー点滅 システムがスタンバイモードである。
		ブルーオン システムが稼動している。
	ナンバーロック	キーボードがNumLockモードであることを表示。
	キャップスロック	キーボードがCapsLockモードであることを表示。
	3.5G(WWAN)	WWANオン/オフ状態。

## 1.7 電源のオン/オフ

### 電源を入れる

本体のカバーを開けて、電源スイッチを1~2秒間押します。コンピュータに電源が入ると電源インジケータがブルーになります。

### 電源を切る

コンピュータをしばらく使用しない場合は電源を切ります。電源を切る前に、すべてのプログラムを閉じてOSを終了します。コンピュータの電源を切った後、LCDパネルを長時間使用した場合はしばらく開いておくようにします。こうするとコンピュータの内部の温度が下がります。パネルを締めるとLCD画面に放熱されるので、これを繰り返していると画面が破損することがあります。コンピュータがオンになっている場合、または省エネ機能が無効になっている場合、LCDパネルを長時間閉めたままにしないでください。

### 電源「ホールド」(Hold)機能

スイッチを左側(Hold)にすると、キーボード、タッチパッド、システムファンクションキーからの入力が一時的に無効になります。スイッチ位置を中央に戻すと上記入力装置が有効になります。このスイッチの目的は、システム起動状態でアイドル状態の時に誤って入力するのを防止することです。これら入力装置の位置は、セクション1.3章の平面図をご参照ください。

## 1.8 キーボードの機能

本機には、追加機能を搭載した標準タイプライターのレイアウトによるキーボードが装備されています。



アイコン	説明
	<b>Caps Lock</b> (キャップスロック)を押すと、すべての文字が大文字で入力されるようになります。
<b>Num Lk</b>	数値キーパッドのオーバーレイをオンにするには、 <b>Num Lk.</b> を押します。
<b>Scrl Lk (Fn+F12)</b>	プログラムによっては、このキーを押すと画面の下にスクロールできるようになります。
	このキーを押すと、Windows®の[スタート]メニューが起動します。
	このキーを押すと、マウスの右キーとして機能します。

## Fn組み合わせキー(ホットキー)



**Fn**キーとその他のキーを組み合わせると、起動、終了、または特別な機能を設定します。この組み合わせはホットキーとも呼びます。ホットキーを使用するには、<Fn>と以下のキーを同時に押します。

アイコン	説明
<b>Fn+F1</b> 	<b>ハイバネーション</b> このキーの組み合わせを押すと、システムはハイバネーションモードに入ります。 このモードで、LCDパネルのバックライトはオフになり、内部デバイスのホストは低消費電力になります。
<b>Fn+F2</b> 	<b>ワイヤレスLAN</b> ワイヤレスLANをアクティブにします。
<b>Fn+F3</b> 	<b>明るさを下げます</b> このキーの組み合わせを押すと、LCDの明るさが下がります。
<b>Fn+F4</b> 	<b>明るさを上げる</b> このキーの組み合わせを押すと、LCDの明るさが上がります。
<b>Fn+F5</b> 	<b>LCD / ビデオアウトスイッチ</b> この組み合わせキーを押すと以下の切り替えができます： LCDモードのみ、 ビデオアウトモードのみ、 LCDとビデオアウト同時モード 注意：この機能は、OSの特定の設定でのみ有効です。 OSのマニュアルを参照してください。

### Fn+F6



#### タッチパッドオン/オフ・ボタン

このボタンを押すと、タッチパッド機能がオン・オフに切り替わります。

### Fn+F7



#### 消音

この組み合わせを押すと、オーディオ信号の出力をオン/オフできます。

### Fn+F8



#### 音声弱

この組み合わせキーを押すと音声出力が小さくなります。  
 注意：この機能は、OSの特定の設定でのみ有効です。  
 OSのマニュアルを参照してください。

### Fn+F9



#### 音声強

この組み合わせキーを押すと音声出力が大きくなります。  
 注意：この機能は、OSの特定の設定でのみ有効です。  
 OSのマニュアルを参照してください。

### Fn+F10



#### 3.5G

3.5Gを有効にします(オプションの機能)

### Fn+F11



#### Bluetooth

Bluetoothを有効にします。



## 1.9 タッチパッドの使用

内蔵タッチパッドは、表面の動きを検出するPS/2互換のポインティングデバイスです。タッチパッドの表面で指を動かすことによりカーソルが反応します。パッドの中央部を使用すると一番快適に動作させることができます。

以下にタッチパッドの使用方法を説明します。

- 指をタッチパッド全体に動かすとカーソルが動きます。
- タッチパッドの端にある左右のボタンを押すと、選択して実行できます。これら2つのボタンは、マウスの左右のボタンと似ています。
- タッチパッドを軽く叩いても同じ結果となります。

## 1.10 内蔵カメラの使用

この機能は、購入された製品の設定によっては使用できない場合があります。購入されたモデルに内蔵カメラが搭載されている場合は、インスタントメッセージソフトウェアやビデオ編集ソフトウェアなどでビデオ機能が使えます。



.....

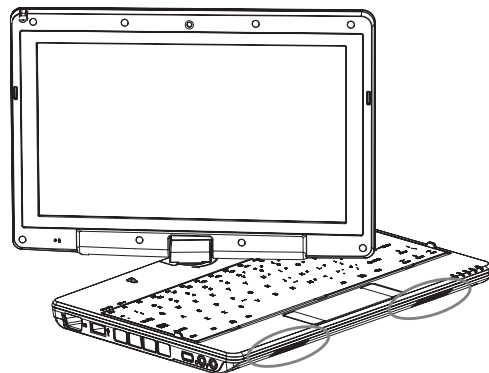
ヒント: 内蔵カメラの使用方法については、ユーティリティソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。



.....


ヒント: 内蔵カメラは、1つ以上のソフトウェアアプリケーションと共有することはできません。別のアプリケーションがカメラを使用している場合、内蔵カメラを使用する前にそのアプリケーションを終了します。

## 1.11 音声の使用



Windows OSで以下のようにボリュームを調整します。

タスクバーのボリュームアイコン  をクリックし、ボタンを使ってボリュームを調整します。

または、ボリュームアイコン  をダブルクリックし、[Volume Control(ボリュームコントロール)]を起動してボリュームをコントロールします。



.....

ヒント: ボリュームは、Fn組み合わせキーを使用しても調整できません。「Fn組み合わせキー」を参照してください。

イヤホンやマイクなどの外付けオーディオ機器を接続する前に音声を調整します。

## 1.12 ワイヤレスLANの使用 (WLAN)

ワイヤレスLANを使用するとネットワークに接続して、家庭やオフィスでインターネットを使用できるので、ケーブルやワイヤを引きずって歩く必要がありません。

### ワイヤレスネットワークの接続と使用

ファンクションキー (**1.8 起動キーの使用**) またはFn組み合わせキー (**1.8 キーボードの使用**) を使用して、ワイヤレスLANをオンにします。タスクバーのワイヤレスネットワークアイコンを右クリックして、[View available wireless network(使用可能なワイヤレスネットワークの表示)] を選択します。

接続するAP(アクセスポイント)を選択し、必要な情報を入力します。[Connect(接続)]をクリックします。マウスのポインタをタスクバーのワイヤレスネットワークのアイコン上に置くと、ワイヤレスネットワークの状態が表示されます。



.....

ヒント: ワイヤレスネットワークのマニュアルには詳細な説明が記載されています。



.....

この機能は購入された製品の設定によっては使用できない場合があります。お使いのモデルがこの機能をサポートするかどうかは仕様書を参照してください。



.....

注意: ワイヤレスLANのセキュリティ設定を作成します。ワイヤレスLANの使用によりセキュリティ問題が発生した場合、当社は責任を負いません。

## 1.13 バッテリーパックの使用

本機は、次のいずれかの電源を使用して作動するように設計されています。

- AC電源(コンセントに接続してあるACアダプターを使用)
- リチウムイオンバッテリーパック

できるだけACアダプターを使用します。AC電源が使用できない場合はバッテリーパックのみを使用します。バッテリーパックを使用することにより外部電源を使用せずに動作させることができます。本体にACアダプターを接続すると、内蔵バッテリーの充電が開始されます。バッテリーが充電している間は、インジケータパネルのバッテリー充電アイコンが点灯します。バッテリーが十分に充電されるとバッテリー充電アイコンは消えます。バッテリー充電に掛かる時間は稼働時に約は3時間となります。

- ビデオ、オーディオ機器を使用すると、コンピュータの電気の消費が増えます。
- モニタの明るさを下げると電力を節約できます。
- バッテリーが十分に充電されていない場合、使用する前にACアダプターを接続して十分に充電してください。
- リチウムイオンバッテリーは損傷することがあります。他の電源アダプタを使用すると火災や爆発することがあるので使用を避けてください。

## バッテリーの交換

バッテリーは徐々に劣化します。バッテリーの持ち時間が大幅に短くなった場合はバッテリーを交換してください。

次の手順に従ってバッテリーパックを交換します。

1. コンピュータの電源を切る。
2. カバーを閉じて、コンピュータを裏返す。
3. バッテリーのラッチをずらす。バッテリーを取り外すまで固定しておく。
4. バッテリーコンパートメントに挿入する前に、交換用バッテリーが正しい方向になっているか確認する。

メモ：バッテリーの残容量が95%以上の場合は100%充電できません。これは、充電頻度とバッテリーの寿命を延ばすサプライヤの忠告に従っているためです。

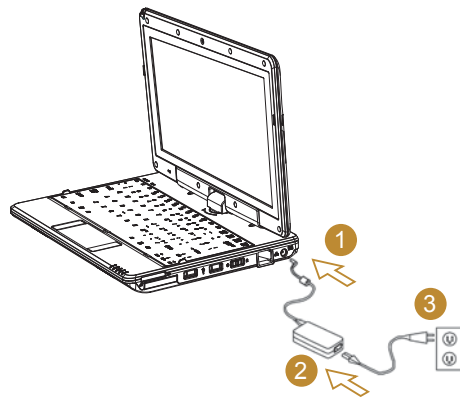
## ACアダプターの保守

- アダプタを他のデバイスに接続することは避けてください。
- 電源コードを踏んだり、上に重いものを載せないようにしてください。また電源コードは、人が歩かない場所に設置するようにします。
- 電源コードを抜く場合は、コード自体を引っ張るのではなく、プラグを引っ張るようにします。
- 延長コードを使用している場合は、コードに繋いでいるデバイスが全容量を超えないよう確認します。さらに、コンセントに差し込んでいるデバイスが、ヒューズの定格総アンペアを超えないよう確認します。
- コードをコンセントに接続する前に、電圧を確認してください。電気仕様が不明な場合は、お近くのベンダまたは電力会社に詳細を問い合わせてください。

## 1.14 ACアダプターの接続

ACアダプターはコンセントから供給されるAC電源を、コンピュータに適したDC電源に変換する装置です。100~240ボルトのAC電源を12VのDC電源(T1028 シリーズの場合は12V/3.0A)に変換するので、ほとんどすべての地域でを使用することができます。

警告：推奨品のACアダプターと電源コードのみを使用してください。違うアダプタを使用すると、コンピュータが破損することがあります。ACアダプターを間違った方法で使用して破損した場合、当社は責任を負いません。



次の手順に従ってアダプタを正しく接続します。

1. 電源コードをACアダプターに接続する。
2. ACアダプターをコンピュータのDC電源ポートに接続する。
3. ACアダプターの電源コードをコンセントに接続する。

## 1.15 T1028 シリーズデバイスドライバのインストール

T1028 シリーズ TouchNoteコンピュータにOSを再インストールした場合は、ハードウェアが正常に機能するように、必要なデバイスドライバをインストールする必要があります。

ドライバをインストールする前に、必要なドライバがすべてOSにインストールされているかベンダに確認してください。まだインストールされていない場合は、次の手順でインストールします。

1. 図のようなユーティリティドライバCDを用意します。



2. CDをCD R-WまたはDVD-RW(オプション)ドライブに差し込みます。自動実行インストール画面が表示されます。

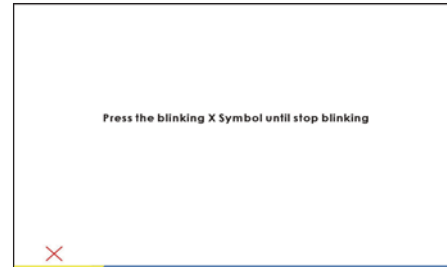
## 1.16 Touch Screenの調整

T1028 シリーズ TouchNoteコンピュータにOSを再インストールした場合は、ハードウェアが正常に機能するように、必要なデバイスドライバをインストールする必要があります。

システムタッチスクリーンLCDでスタイラスペンを使うことで、マウスと同じ操作ができます。タッチスクリーンは校正が必要です。以下のような時は校正を行ってください。

- **Windows**をはじめて使う。カーソルが勝手に移動してします。ペンの先端とカーソルの位置が違う。
- アクティブなカーソルが離れることがある。

タッチスクリーンの画面を校正するには、[Desktop Manu (デスクトップメニュー)] => eGalax Touch => **Configure Utility** => **Tool** => **4 points Calibrate** を選択します。次に、説明に従って画面校正を終了します。



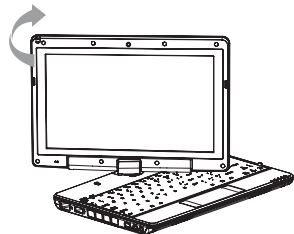
.....  
メモ：画面校正へ進む前に、画面の表示解像度を1366x768または1024x600(ハードウェアの仕様により異なる)に設定します。

## 1.17 T1028 シリーズをタブレットPCとして使用する

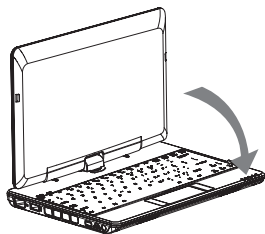
本機の画面はタブレットPCのようにして使用することができます。次の手順に従って画面を反転させてください。

1. T1028 シリーズのカバー(画面ディスプレイ)を開きます。
2. キーボードの中央上部に、ディスプレイを支えている軸があります。その横に矢印が書いてあります。

3. 矢印の向きに従って、画面が外側になるよう時計回りに180度回転させます。

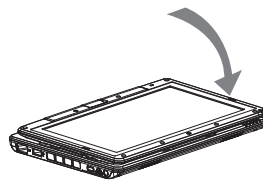


4. 回転した画面を平らになるまで倒します。キーボードがディスプレイで隠れます。T1028 シリーズをタブレットPCとして使用する場合は、スタイラスを使用するか、または画面に触ります。



5. タブレットPCとしての使用が終了

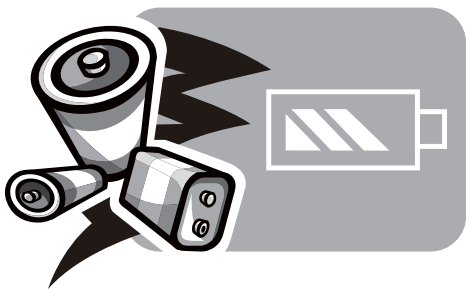
したら、上記の説明を逆に実行して(画面を90度まで立てて、反時計周りに180度回転する)、T1028 シリーズを本来の位置まで戻します。



\*注意: 画面は時計回りに180度までしか回転できません。矢印の向きに従って回転させてください。無理な方向や不適切な角度に回転させると本体が破損します。

## 1.18 動作温度:

動作温度: 10°C~40°C



## 第2章 バッテリーについて

## 2.1 バッテリーパック

本体には充電式高エネルギーリチウムイオンバッテリーパックが搭載されています。バッテリーの寿命は、製品の設定、製品モデル、製品に搭載されるアプリケーション、製品の電源管理設定、および製品機能の使用法により異なります。すべてのバッテリー同様、本バッテリーの最大容量は使用するにつれて減少します。

## 2.2 バッテリーパックの充電

本体はオンライン、オフラインのどちらでも充電できます。次の手順に従ってバッテリーを充電します。

■ 本体にバッテリーパックが取り付けられているか確認してください。

■ ACアダプターを本体とコンセントに接続します。

バッテリーパックの充電が完了すると、バッテリーのLED(LCDディスプレイの左上)が点灯します。LEDの詳細は第1章3を参照してください。本体の電源がオフの場合、消耗したリチウムイオンバッテリーを充電するには3時間要します。

## 2.3 Q&A

**Q:** バッテリーパックが熱くなっていますが、大丈夫でしょうか？

**A:** バッテリーは、充電時および放電時には熱を発生します。本体には過熱を防止する回路があります。心配する必要はありません。

**Q:** バッテリーの作動時間が短過ぎます。なぜですか？

**A:** バッテリーは熱に対して敏感です。バッテリーとその使用環境温度が15～25℃(59～77°F)以内の場合は最大容量まで充電できます。充電中に温度がこの範囲から逸脱するほど、バッテリーは完全に充電されなくなります。パックを最大容量まで充電するためには、ACアダプターを電源から抜いて温度を下げます。温度が下がるまで待ちます。その後、ACアダプターを電源に差し込んで充電を開始します。

**Q:** 予備のバッテリーを数日使いませんでした。完全に充電されていても、新しいバッテリーほどのパワーが出ません。なぜですか？

**A:** バッテリーは、充電していないときには自然に放電します。バッテリーパックを完全な充電状態にするために、使用前に充電してください。バッテリーはいつも本体に取り付け、ACアダプターを接続状態にしておきます。

**Q:** 予備のバッテリーを数か月使わなかったら、充電できなくなりました。

**A:** バッテリーパックは長期間—例えば3か月間—使用しないでいると自然に放電されて電圧が下がるので、通常の自動急速充電(リチウムイオンのみ)をする前に、プレ充電が必要です(バッテリーの電圧を上げる)。プレ充電の所要時間は30分です。急速充電の所要時間は通常2~3時間です。

## 2.4 バッテリーの保守

バッテリーパックの最大容量を維持するために、充電する前に時々本体のバッテリーを完全に使い切ります。

バッテリーを完全に使い切るためには、ACアダプターを取り外して本体のバッテリーの残容量を完全に使い切ります。消耗のスピードアップを図るには、できるだけHDDを使います。バッテリーが空になったら、本体の温度(特にバッテリーの温度)が下がるまで待ちます。15~25°C(59~77°F)に下がるまで待ちます。下がったらACアダプターを差し込んでバッテリーを充電します。

## 2.5 消費電力

Windows™ OSには最新のACPI(Advanced Configuration Power Interface)電源管理技術が統合されています。バッテリーパックの電源を十分に活用するために、OSの電源管理を理解することが推奨されます。

Windows™ OSを使用されている場合、コントロールパネルの電源オプションから設定できます(設定方法はWindows™ OSのバージョンにより異なります。詳細はWindows™のヘルプをご参照ください)。

## 2.6 消費電力の削減

お使いのT1028 シリーズ TouchNote(およびOS)では節電が可能です。さらに消費電力を削減する方法もあります。

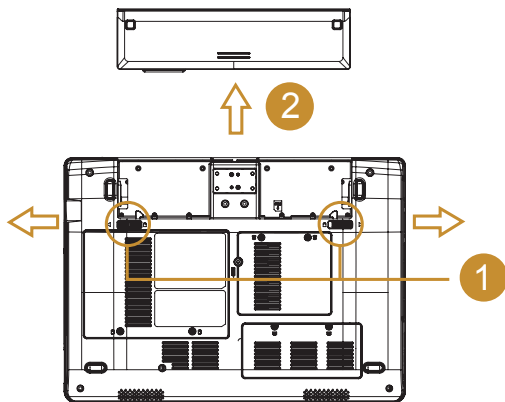
- できるだけAC電源を使用する。
- ファイルの読み取りや書き込みには、外付けのUSB FDDではなくHDDドライブを使用する。
- Web Cam、WLAN、Bluetooth®など、使用していないデバイスを無効にする。
- Windowsの設定でLCDパネルの輝度を下げる。

メモ: 電源の投入に関わらず、バッテリーパックは必ずバッテリーパックコンパートメントにインストールします。



## 2.7 バッテリーパックの取り外し

このバッテリーパックは簡単に取り外し/交換できます。バッテリーパックを交換する際は、コンピュータがシャットダウンしているか確認してください。電源が入っているときにバッテリーパックを交換する場合は、バッテリーパックの他にも電源を使用していることを確認します。次の手順に従ってバッテリーパックを取り外します。

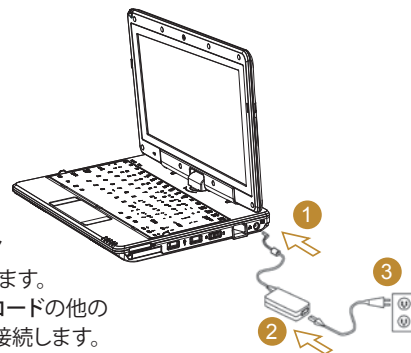


- 本体がシャットダウンしていることを確認します。
- 図のように、本体を裏返しに置きます
- バッテリーロックを押して、#1のようにロックを解除します。
- #2のようにバッテリーパックを取り外します。

上記の手順の逆の順番で、バッテリーパックを挿入します。

## 2.8 本体をACアダプターと接続する

- #1のように、ACアダプターを本体に接続します。
- #2のように、AC電源コードをACアダプターに接続します。
- #3のように、電源コードの他の端をコンセントに接続します。



## 2.8 バッテリー容量検査

システムが起動していない状態の時に、バッテリー残容量を調べたい場合は、ファンクションキー(1.2を参照してください)を押してください。LEDインジケーターがバッテリー残容量を表示します。

バッテリー残容量ランプ参照：  
 5個点灯：バッテリー容量100%  
 4個点灯：バッテリー容量80%  
 3個点灯：バッテリー容量60%  
 2個点灯：バッテリー容量40%  
 1個点灯：バッテリー容量20%

ランプ消灯：A. バッテリーが正しく装着されているか確認してください。  
 B. バッテリー電力が切れ、ACアダプターを接続して充電してください。



## 第3章 BIOSセットアッププログラムについて

BIOSセットアップユーティリティは、T1028 シリーズ TouchNoteの BIOS(basic input/output system)に組み込まれているハードウェアの設定プログラムです。お使いの本体は正しく構成・最適化されています。このユーティリティプログラムを実行する必要はありません。ただし、構成上の問題が発生した場合は、これを実行する必要があります。

### 3.1 BIOSセットアップユーティリティの使用

本体にはBIOSセットアップユーティリティが付属しており、コンピュータのさまざまなオプション機能用の設定を含め、重要なシステム設定を構成することができます。本章では、BIOSセットアップユーティリティの使用法について説明します。

#### BIOSセットアップメニュー

BIOSセットアップユーティリティでは、コンピュータの基本設定を構成します。コンピュータの電源をオンにすると、システムはこの情報を読み取ってハードウェアが正しく動作するように初期化します。コンピュータの起動構成を変更するには、BIOSセットアップユーティリティを使用します。例えば、システムのセキュリティと電源管理ルーチンを変更することができます。

#### BIOSセットアップユーティリティの起動

BIOSセットアップユーティリティはコンピュータのブートプロセスの間、つまりコンピュータの電源をオンにしてからWindowsのインターフェイスが表示されるまでの間しか起動することができません。コンピュータの電源がすでにオンになっている場合、コンピュータをシャットダウンし（電源オフ）、再起動してからF2キーを押してセットアップユーティリティを起動します。

#### BIOSの情報をナビゲートし設定する

次のキーを使ってフィールド間を移動したり、情報を設定します。

← →	メニューの選択
↑ ↓	矢印キーを上または下に押して選択を移動します
Enter	サブメニューを選択するか設定します
F1	ヘルプ

F7/F8	値の変更
F9	デフォルトのセットアップ
F10	保存して終了
ESC	Escを押して選択を終了します。変更を保存せずにBIOSユーティリティを終了する場合、メインメニューに進み、Yes（はい）を押します。

一部のフィールドではデフォルト設定に変えて新しい値を入力できませんが、それ以外のフィールドはシステムのデフォルトパラメータで指定されており、ユーザーの側で変更することはできません。メインオプションの属性を反転してEnterキーを押し、サブメニューに入ります。Escキーを押して、前の構成ページに戻ります。

メニュー	説明
Main(メイン)	Main(メイン)画面には、本体のハードウェア情報のサマリ、および基本的なセットアップパラメータが表示されます。
Advanced(詳細)	ハードウェアデバイスなどのパラメータが表示されます。
Security(セキュリティ)	本体を不正使用から保護するためのパラメータが表示されます。
Boot(起動)	起動装置の順番および、装置の有効/無効を設定する。
Exit(終了)	システムを設定するインターフェイスを終了します。



ヒント: メニュー及びキーの詳細は、各項目のヘルプを参照して

ください。製品の製造ロットによりBIOSのバージョンが異なるため、設定項目が若干異なる場合があります。



.....  
**注意:** お使いの本体のBIOSは最適設定に初期化されています。  
 必要ない限り、変更することは避けてください。



.....  
**ヒント:** 本章の写真はお手元にある本体のBIOS設定画面と若干異なる場合があります。画面のイメージを伝えるための参考写真となります。

## 3.2 メインメニュー

InsydeH20 Setup Utility			
Main	Advanced	Security	Boot Exit
<b>System BIOS Version</b> T1028 F02 <b>Processor Type</b> Intel ® Atom™ CPU N270 @ 1.60GHz <b>System Bus Speed</b> 533MHz <b>System Memory Speed</b> 533MHz <b>Cache RAM</b> 0512 KB <b>Total Memory</b> 1024 MB			<b>Item Specific Help</b> F7: Reduce Number; F8: Increase Number; No action for Number Keys
<b>System Time</b> [19:14:50] <b>System Date</b> [Thu 01/01/2009]			
F1 Help ↑↓ Select Item F7/F8 Change Values F9 Setup Default ESC Exit ←→ Select Menu Enter Select▶Menu F10 Save and Exit			

### System Time(システムの時間)

時:分:秒の順番に並んでおり、コンピュータ本体のシステムの時間を変更できます。

各フィールドに現在の時間を入力します。各フィールド間を移動するには、<Tab>、<Shift>+<Tab>、またはEnterキーを使用します。

システムの時間はOSでも変更できます。

### System Date(システムの日付)

月/日/年の順番に並んでおり、コンピュータ本体の日付を設定できます。各フィールドに現在の時間を入力します。各フィールド間を移動するには、<Tab>、<Shift>+<Tab>、またはEnterキーを使用します。

システムの時間はOSでも変更できます。

### 3.3 詳細メニュー

InsydeH20 Setup Utility				
Main	Advanced	Security	Boot	Exit
▶ Boot Configuration		Item Specific Help		
▶ IDE Configuration		Configures Boot Settings.		
Advanced S3:	[Enable]			
Keyboard Language	[US, Chinese]			
F1 Help		↑ ↓ Select Item	F7/F8 Change Values	F9 Setup Default
ESC Exit		← → Select Menu	Enter Select▶Menu	F10 Save and Exit

#### BOOT CONFIGURATION (起動時設定)

##### numlock on/off (数字キーロックのオン/オフ)

起動時にNumlock On (数字キーモード)機能をオンにするかどうか設定します。

##### IDE CONFIGURATION (IDEの設定)

IDEハードディスクドライブ設定

##### ADVANCED S3 (S3の詳細設定)

モード詳細設定 有効/無効

##### Keyboard Language (キーボード言語)

[オフ]/[ドイツ語]/[韓国語]/[日本語]/[ユーザーインターフェイス(USキーボード、中国語)]

### 3.4 セキュリティメニュー

InsydeH20 Setup Utility				
Main	Advanced	Security	Boot	Exit
Supervisor Password : Not Installed			Item Specific Help	
User Password : Not Installed			Install or Change the password and the length	
<b>Set Supervisor Password</b>			Of password must be	
Set User Password			Greater than one word.	
F1 Help		↑ ↓ Select Item	F7/F8 Change Values	F9 Setup Default
ESC Exit		← → Select Menu	Enter Select▶Menu	F10 Save and Exit

#### Set Supervisor Password(スーパーバイザのパスワード設定)

スーパーバイザのパスワードは、より低いレベルのユーザーのパスワードの前に設定する必要があります。Change Supervisor Password (スーパーバイザのパスワードの変更)を選択した後で、Enterを押します。新しいパスワードを入力し、再びパスワードを確認するように求められます。6文字以下で入力します。間違った場合、Escを押してもう一度やり直します。

#### Set User Password(ユーザーのパスワード設定)

ユーザーのパスワードでは、セットアップユーティリティを入力しユーザーのパスワードを変更または削除することができますが、セットアップユーティリティを入力したりスーパーバイザのパスワードを変更または削除することはできません。また、無効にされたディスクへのアクセスを有効にすることもできません。

### 3.5 起動メニュー

InsydeH20 Setup Utility				
Main	Advanced	Security	Boot	Exit
<b>Quiet Boot</b> [Enable] <b>USB boot</b> [Enable] <b>ACPI Selection</b> [ACPI 3.0] <b>▶ Boot Type Order</b> <b>▶ Hard Disk Drive</b>			<b>Item Specific Help</b> Disables or enables Booting in Text Mode.	
<b>F1</b> Help    ↑ ↓ Select Item <b>F7/F8</b> Change Values <b>F9</b> Setup Default <b>ESC</b> Exit    ← → Select Menu <b>Enter</b> <u>Select▶Menu</u> <b>F10</b> Save and Exit				

#### Boot Type menu (ブートタイプメニュー)

このメニューでは、ユーザーによるオペレーティングシステムをロードするデバイスの順序が決定できます。

### 起動タイプの順序サブメニュー

InsydeH20 Setup Utility	
Boot	
<b>Boot Type Order</b> Hard Disk Drive USB CD/DVD ROM Driver USB Memory Others	<b>Item Specific Help</b> Keys used to view or configure devices; Up and Down arrows select a device. <F7> and <F8> moves the device up or down.
<b>F1</b> Help    ↑ ↓ Select Item <b>F7/F8</b> Change Values <b>F9</b> Setup Default <b>ESC</b> Exit    ← → Select Menu <b>Enter</b> <u>Select▶Menu</u> <b>F10</b> Save and Exit	

## 3.6 終了メニュー

InsydeH20 Setup Utility	
Main    Advanced    Security    Boot    Exit	
<b>Exit Saving Changes</b>	<b>Item Specific Help</b>
Exit Discarding changes	Exit system setup
Load Optimal Defaults	and save your changes.
Discard Changes	
F1 Help    ↑ ↓ Select Item    F7/F8 Change Values    F9 Setup Default	
ESC Exit    ← → Select Menu    Enter Select Menu    F10 Save and Exit	

### Exit Saving Changes (変更を保存してから終了)

ユーザーによる変更をCMOSに保存してから再起動します。ユーザーがこの項目で[Enter]キーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

Yes: 変更を保存して、Setupを終了してから再起動する。

No: 前の画面に戻る

### Exit Discarding Changes (変更を保存せずに終了)

ユーザーによる変更を保存せずに、Setupプログラムを終了します。ユーザーがこの項目で[Enter]キーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

Yes: 変更を保存せず、Setupを終了してから再起動する

No: 一つ前の画面に戻る

### Load Setup Defaults (デフォルト値に戻し)

ユーザーはCMOS Setupのデフォルト値をロードできます。ユーザーがこの項目で[Enter]キーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

Yes: デフォルト値のロードを確認

No: デフォルト値のロードをキャンセル

### Discard Changes (変更をキャンセル)

ユーザーによる変更はキャンセルします。ユーザーがこの項目で[Enter]キーを押すと、以下のメッセージが表示されます。

Yes: 変更を保存しない

No: 前の画面に戻る

### 3.7 BIOSのアップグレード方法

お買い上げのネットブックコンピュータT1028 シリーズはEPROMフラッシュBIOSチップを採用しており、BIOSプログラムのアップグレードが容易になっています。

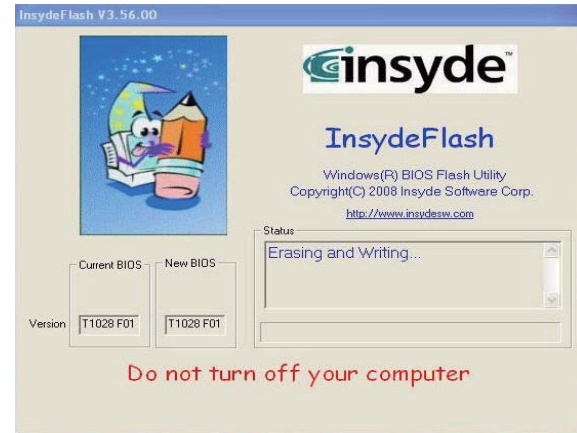
BIOSをアップグレードする際は、個人的に加えられた設定変更は失われます。最新のBIOSアップグレードユーティリティは、Gigabyteウェブサイト<http://www.gigabyte.com.tw> から入手可能です。

#### DOS上でのBIOSアップグレード:

1. 最新のBIOSが保存されているディスクをフロッピードライブに入れます。(USB FDD、USBフラッシュディスク、またはフロッピーディスク)
2. ディスクをフロッピードライブに入れた状態で本体の電源をオンにします。
3. DOSプロンプトに対して、以下のコマンドを入力します。  
A:\>FLASHIT.EXE XXXXXX.BIN /mc /alまたは  
A:\>XXXXXX.BAT (BIOSファイル用のバッチファイル)
4. これでシステムは自動的にBIOSアップグレードを実行します。
5. アップグレード完了時に、システムは自動的にシャットダウンされます。

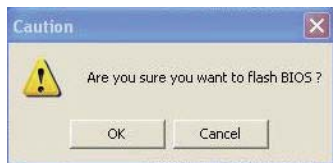
#### Windows上でのBIOSアップグレード:

1. Gigabyteウェブサイト<http://www.gigabyte.com.tw> にアクセス (ホーム(Home)> サポート(Support)> ノートブック(Notebook)> BIOS > T1028 シリーズ(BIOS of T1028 シリーズ)し、① BIOSアップグレードツール (InsydeFlash)および② 最新のBIOSアップグレードユーティリティをダウンロードします。
2. ダウンロードされたファイルを解凍(Unzip)します。
3. 解凍されたフォルダからInsydeFlash.exeを実行します。
4. InsydeFlashユーティリティツールは下図のようになります。

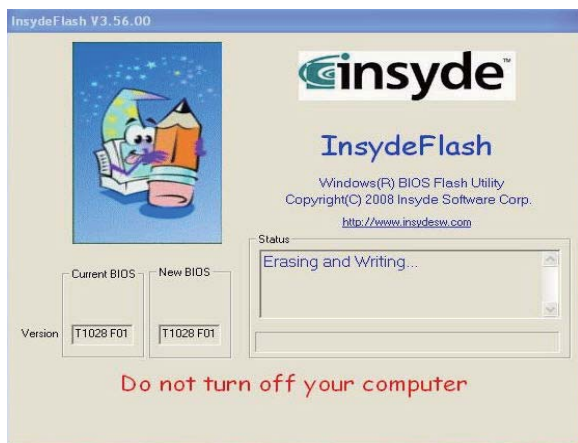




5. OKをクリックすると、フラッシュプログラムが実行を開始します。



6. 進行状況がポップアップウィンドウに表示されます。プログラム実行中は正しく処理を完了するまで中断しないでください。



7. アップグレード完了時に、システムは自動的にシャットダウンされます。ノートブックコンピュータGIGABYTE T1028 シリーズの電源ボタンを押すと再起動します。



## 第4章 Smart Managerについて




スマートマネージャはバージョン変更のため、インターフェース、アイコン、順番や機能等において異なる場合があります。実際に搭載されたバージョンをご利用ください。

#### 96% AC-IN **バッテリーステータス/ AC-IN:**

バッテリーを装着している時は、バッテリーのアイコンが点灯し、バッテリーの残容量を表示します。バッテリー残容量が低くなるとアイコンは赤色で表示されます。ACアダプターを差し込むとAC-INアイコンが点灯します。

#### **音量:**

このアイコン-/+をクリックすると 、音量を調整します。




#### **ミュート:**

このアイコンをクリックすると、ミュートを有効/無効にします。



#### **輝度:**

アイコン-/+をクリックすると 、明るさを調整します。



#### **ワイヤレス機能:**

このアイコンをクリックすると、ワイヤレス機能を有効/無効にします。



#### **Bluetooth機能:**

このアイコンをクリックすると、Bluetooth機能を有効/無効にします。



#### **3.5G機能:**

このオプションを搭載する場合はこのアイコンをクリックすると、3.5G機能を有効/無効にします。



#### **ウェブカメラ機能:**

このアイコンをクリックすると、ウェブカメラ機能を有効/無効にします。



#### **電源管理モード設定:**

ワイヤレスLANをアクティブにします。



このアイコンをクリックすると、『省電力』モードを有効にします。



このアイコンをクリックすると、『ハイパフォーマンス』モードを有効します。



このアイコンをクリックすると、『バランス』モードを有効します。



このアイコンをクリックすると、『プレゼンテーション』モードを有効します (Windows XP のみ)。



#### **出力信号の設定:**



このアイコンをクリックすると、LCD液晶にも外部出力にも表示します。



このアイコンをクリックすると、LCD液晶のみ表示します。



このアイコンをクリックすると、外部出力のみ表示します。



#### **ソフトウェアキーボード機能:**

このアイコンをクリックすると、ソフトウェアキーボード機能を有効/無効にします。



#### **ローテーション機能:**

このアイコンをクリックすると、ディスプレイ画面の方向を回転します。



#### **タッチパネル機能:**

このアイコンをクリックすると、タッチパネル機能を有効/無効にします。





## 第5章      トラブルシューティング / Q&A

本章では、使用中に発生すると思われる基本的なトラブル(不具合)に対するアドバイスと解決方法について説明します。トラブルの解決方法については本章を参照し、説明に従ってください。

## 5.1 トラブルシューティング



警告: ご自分での作業が難しい場合は、作業する前に取扱店か本製品のサービスセンターにご相談ください。

### ACアダプター

トラブル	解決方法
本体に電源が入らない	ACアダプターが電源と本体に接続されていることを確認します。 ケーブルとプラグが正常なことを確認します。破損している場合は、速やかに取扱店に連絡してください。

### バッテリーパック

トラブル	解決方法
本体に電源が入らない	バッテリーパックの残容量が不足しているためマシンに電源が入りません。ACアダプターを接続して充電します。
ACアダプターを接続しても充電できない	バッテリーパックの表面温度を確認します。温度が高過ぎたり低過ぎるとバッテリーパックは充電できません。温度が通常環境の温度になってから充電します。 バッテリーパックが完全に放電した場合、すぐには充電できません。数分待ってから充電します。 バッテリーパックの電源インジケータが点灯しない場合は寿命がきています。販売店に連絡して新しいバッテリーパックを購入してください。

バッテリーの寿命は本体の使用状態により異なります。OSの[Power Manager(電源マネージャ)]の設定は変更できます。

バッテリーの寿命が短過ぎる

バッテリーパックは十分に充電しない状態を頻りに繰り返すと寿命が短くなります。バッテリー残容量の警告メッセージが出る状態まで使用してから、充電を行うと比較的長時間使用できるようになります。



警告: バッテリーパックに関する次の情報に注意してください。

1. 使用済みバッテリーは必ずリサイクルしてください。
2. バッテリーを高温になる場所に置いたり、熱源または燃えている火に投げたりしないでください。爆発の危険があります。
3. 無断でバッテリーを組み立てたり、分解/改造しないでください。
4. 正規メーカーが提供するバッテリーパック以外は使用しないでください。正規メーカーが提供するもの以外のバッテリーを使用すると、装置が損傷する原因となります。

### キーボード

トラブル	解決方法
文字キーを押すと数字が表示される	<b>Num Lock</b> が起動していないことを確認します。
表示が乱れる	キーボードを構成するソフトウェアがインストールされていないことを確認します。

**警告:** キーボードの保守に関しては、次の情報に注意してください。

1. キーボードを長く使用していると、埃がたまります。小さなブラシでキーボードを洗浄するようにお勧めします。キーボードの表面を洗浄する前にコンピュータをシャットダウンし、クリーナーまたは水に軽くしめらせた柔らかい布で拭きます。
2. キーボードに液体が入った場合、電源を直ちに切り、バッテリーを取り出して、製造元に連絡して修理を行ってください。キーボードを自分で分解して修理しないでください。

### ハードディスクドライブ(HDD)

トラブル	解決方法
HDDが起動しない	ウイルスなどによりOSが破損している可能性があります。ウイルスを除去するかOSを再インストールします。
	OSの作動中にエラーが発生した可能性があります。OSのマニュアルを参照してください。
HDDの動作が非常に遅い	ファイルの断片が多過ぎます。ディスクデフラグを使用してハードディスクのプログラムを再調整します。

**警告:** ハードドライブの保守に関しては、次の情報に注意してください。

1. ハードディスクは高速のデータ記憶装置です。ハードディスクの損傷とデータ損失を防ぐために、本体を不安定な場所で使用することはできるだけ避けてください。
2. 通常の起動/シャットダウン手順に従ってコンピュータを使用してください。不適切な起動/シャットダウン手順を頻繁に繰り返すとハードディスクの耐用年数が短くなります

### LCD

トラブル	解決方法
画面に何も表示されない	外部モニタに接続している場合、 <b>Fn + F5</b> ホットキーを押して表示モードを変更します。 システムが <b>Hibernation(ハイバネーション)</b> または <b>Standby(スタンバイ)</b> になっていないことを確認します。



**警告:** LCDに搭載されているタッチパネルの構造上、下記の点にご注意ください。

1. 作業領域のエッジ部に強い力を掛けない。
2. タッチパネルやフィルム面に強い衝撃や圧力を加えない。
3. タッチパネルに重い物を乗せない。





4. タッチコントロールLCD画面は本体のもっとも割れやすいコンポーネントで、強い力を加えると破裂する傾向があります。LCD画面が損傷する原因となるため、キーボードの上またはキーボードとスクリーンの上に物を置かないでください。
5. GIGABYTE T1028 シリーズ TouchNoteを携えて旅行する場合、特殊なケースにきちんと入れてください。物をいっばいに詰めすぎるとコンピュータが強く押され、LCD画面が損傷する危険があります。
6. 尖った物体または指でスクリーンに直接触れないでください。
7. 特殊な画面クリーニング布でLCD画面を拭くようにお勧めします。破損を避けるために、画面はそっと拭いてください。
8. LCD画面の成分が損傷する可能性があるため、画面に液体が入らないように注意してください。

## プリンタ

トラブル	解決方法
T1028 シリーズ TouchNoteからプリンタにデータが出力されない	プリンタに電源が入っているか確認します。ケーブルが正常で、USBインターフェイスが本体に接続しているか確認します。 プリンタが本機と互換性のある機種であることを確認します。
印刷エラー	プリンタのユーザーマニュアルを参照してください。

## オーディオ

トラブル	解決方法
音が出ない	サウンドコントローラを調整します。 ソフトウェアの音声ボリュームの設定を確認します。 イヤフォンが正しく接続されているか確認します。 Windowsのデバイスマネージャを確認します。 音声機能が有効になっていること、他のハードウェアに干渉されていないか確認します。

## USB

トラブル	解決方法
接続してある装置が作動しない	本体のUSBポートが装置のUSBコードに正しく接続しているか確認します。 装置のドライバが正しくインストールされているか確認します。

## スタンバイ/ハイバネーション

トラブル	解決方法
次のモードに変更できないスタンバイ/ハイバネーション	Windows Media Playerが実行されているか確認してください。実行されている場合、スタンバイ/ハイバネーションモードになりません。Windows Media Playerを終了してください。

## LAN

トラブル	解決方法
接続できない	RJ45コネクタがネットワークハブやスイッチに正しく接続されているか確認します。

## 5.2 Q&A

- ◇ すぐハイバネーションモードに切り替わるので、頻繁にキーを押すか、マウスを移動させて画面を表示しなければなりません。どのようにすると直りますか？

これはWindowsの電源管理で調整できます。[スタート]、[コントロールパネル]、[電源オプション]に進んで[電源管理]にアクセスして、[モニタの電源を切る]オプションの時間を希望する時間に変更します。電源またはバッテリーを切る時間を選択できます。

- ◇ ハードドライブでファイルのクリーニングを行ったり調整するとプログラムの起動時間を短縮できるそうですが、どのようにするのですか？

定期的にディスクの保守作業を行うとプログラムの起動時間を短縮できます。ファイルが効率的にグループ化されるよう、不要なファイルを削除してハードディスクのデフラグを行います。Windowsには、これらの作業を行う保守ユーティリティが搭載されています。ディスククリーンアップを実行して不要なファイルを除去し、ディスクデフラグで断片化したファイルを最適化してください。これらのユーティリティの詳細はWindowsのマニュアルを参照してください。

- ◇ ノートブックコンピュータで使用する外付けマイクにはどのようなものがありますか？

自己増幅式のマイクが必要です。

- ◇ スピーカーからエコーが出ます。どのようにすると直りますか？

タスクバーのスピーカーアイコンをダブルクリックして、[Microphone Balance(マイクのバランス)]で[Mute(消音)]ボックスにチェックマークを付けます。

- ◇ ソフトウェアのエラーで、コンピュータをシャットダウンできません。電源ボタンを押してコンピュータの電源を切ろうとしましたが、それでも電源を切れません。どのようにすると強制的に電源を切ることができますか？

電源ボタンを4秒以上押し続けます。通常はこれでコンピュータがシャットダウンします。

- ◇ しばらく使用しなかったポータブルコンピュータのバッテリーを充電しようとしたが、できません。

長期間使用しない場合(例えば1か月以上)、バッテリーは低電圧保護モードに替わります。この状態になると、通常電圧に戻るためには、バッテリーは数時間かけてゆっくり充電します。完全に充電されると、コンピュータは通常の作動に戻ります。

- ◇ コンピュータに「CMOS Battery Low(CMOSが低バッテリーです)」というメッセージが表示されました。どうすればよいですか？

コンピュータに電源が入っていない(コンピュータの電源をコンセントから抜いて、バッテリーパックも取り外す)状態が45日以上続くと、CMOSに保存されている情報が失われます。次の手順に従ってCMOSの設定を再構成してください。

1. F2を押してBIOSのセットアップユーティリティを起動します。
2. [Load Optional Defaults(オプションの既定を読み込みます

か?)を選択します。次のプロンプトが表示されたら、[OK]を選択して[Enter]を押します。

3. [Save Changes and Exit(変更を保存して終了する)]を選択して[Enter]を押すと、コンピュータが再起動します。

#### ◇ デバイスのコードを抜く/デバイスを取り外す

1. タスクバーの隣にある通知エリアの取り外しアイコンをダブルクリックします。[Safe Removal(安全な取り外し)]に、現在本体に接続されているプラグアンドプレイに対応した安全に取り外しができるデバイスの一覧が表示されます。  
Safe Removal(安全な取り外し)アイコンが表示されない場合は、そのデバイスを安全に取り外すことができないので、[Safe Removal(安全な取り外し)]を使用してコードを抜いたり、デバイスを取り出すことはできません。
2. [Safely Remove Hardware(安全に取り外しできるハードウェア)]のデバイス一覧から、コードを抜く/取り外すデバイスを選択し、[Stop(停止)]をクリックします。これでシステムに、これからデバイスのコードを抜く/取り外すことを連絡します。
3. [Stop a Hardware device(ハードウェアデバイスの停止)]で[OK]をクリックします。  
安全にデバイスのコードを抜く/取り外すことができるというメッセージが表示されます。

#### 警告

- はじめに「Safe Removal(安全な取り外し)」アプリケーションを使用してシステムに警告を出さずに、安全な取り外しをサポートするデバイスのコードを抜く/取り外すと、データを紛失したり、システムが不安定になることがあります。例えば、[Safe Removal(安全な取り外し)]を使用する場合は、デバイスのコードを抜く/取り外す前にシ

ステムに警告を出して、データロスを未然に防ぐことができます。

#### メモ:

- システムがオンになっているときに安全に取り外すことができる記憶装置では、既定のキャッシュ書き込み機能が無効になります。こうすることでデータを紛失しないでデバイスを取り外すことができます。ただし、キャッシュの書き込みが無効な場合はパフォーマンスが低下するので、デバイスを取り外した後は必ずキャッシュの書き込みを有効にします。

- #### ◇ T1028 シリーズには、Bluetooth機能の有効/無効を切り替えるためのハードウェアスイッチまたは機能ボタンが付いていますか?

T1028 シリーズには、3G (Fn+F10)とBluetooth (Fn+F11)機能の有効/無効を切り替えるための組み合わせ機能ボタンが付いています。

- #### ◇ タッチコントロールスクリーンを使用する場合、どんなことに注意すればいいのですか?

パネル構造の原理上、タッチパネルの周囲はきわめて繊細になっています。そのような訳で、シャーシの縁に沿って線を描くことは厳禁します。過度の圧力によりペット/フィルムが損傷したり、外部シエルのエッジの裏地/パッドが剥がれ、そのためスクリーンが動作しなくなる原因となります。

- #### ◇ T1028 シリーズがサポートできるSDHCカードの容量はどのくらいですか?

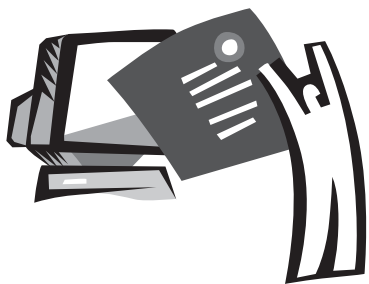
T1028 シリーズ SDカードがサポートするSDHCの仕様は、SDA

ソシエーションの仕様に従う必要があります。現在、SDアソシエーションが発表している最大容量は32GBです

<http://www.sdcard.org/developers/tech/sdhc/>

◇ DOSとWindowsモードでT1028 シリーズをアップグレードするには、どうすればよいのですか？

DOSとWindowsモードでT1028 シリーズをアップグレードするには??を参照してください



付録I

仕様

## プロセッサ

- Intel® Atom 1.6GHz N270、または
- Intel® Atom 1.66GHz N280

## OS

- Microsoft Windows XP準拠
- Microsoft Windows 7準拠

## コアロジック

- Intel® 945GSE

## メモリ

- DDRII SO-DIMM X 1、最大2 GB
- 当モデルと互換性のあるHDDおよびRAMについては、GIGABYTE AVLリストを参照してください。

## ビデオインターフェイス

- Intel® 945GSE

## ディスプレイ

- 10.1インチLCDパネル/WSVGA 1024x600、タッチスクリーン装備、回転角度180°、または
- 10.1インチLCDパネル/WXGA 1366x768、タッチスクリーン装備、回転角度180°

## ハードディスクドライブ

- 2.5インチ、9.5mm S-ATA HDD 160GB/250G/320GB

## 光学式ドライブ

- USB接続の外付けODD (未付属)

## 入力デバイス

- 86キー日本語キーボード/タッチパネル

## I/Oポート

- USB X 3、マイク(入力)/イヤフォン(出力)/D-SUB
- RJ45 / SD/MMC/MS/MS Proカードリーダー / Expressカード

## オーディオ

- スピーカー1.5ワットx 2

## Bluetooth

- Bluetooth 2.1内蔵

## Webカメラ

- 1.3M画素CMOSカメラ

## LAN/ワイヤレスLAN

- 802.11b/g/nミニカード、3.5Gミニカード(オプション)

## キーボード

- 86キー日本語キーボード

## 保護

- ケンジントンロック

## バッテリー

- リチウムイオンバッテリー4500mAh(4セル)、または
- リチウムイオンバッテリー7650mAh(6セル)

## 寸法&重量

- 265(W) x 195(D) x 38.5(H)mm (4セルバッテリーを含む)
- 265(W) x 214(D) x 41.4(H)mm (6セルバッテリーを含む)
- 1.3kg (4セルバッテリーを含む)
- 1.48kg (6セルバッテリーを含む)

## サービス

- 詳細は<http://www.GIGABYTE.com.tw>



.....  
上記はユーザーの参照用に提供される一般的な仕様です。最終的な構成は購入されたT1028 シリーズ TouchNoteにより異なります。





## 付録II

## XPRESS RECOVERY 3 Lite について



## ウルトラモバイルTouchNoteを工場デフォルト値に復元する方法

復元する時機：コンピュータがウイルスに感染したか、オペレーティングシステムを工場デフォルト値に復元したい何らかの理由がある場合。

Xpress Recovery3 Lite (XR3 Lite) Professional Recoveryユーティリティを実行します。次の手順に従って実行してください。

1. まずコンピュータを起動させます。システムがすでに稼働中の場合は、コンピュータを再起動させます。
2. 起動画面(トレードマーク、ロゴ、またはテキストなど)が表示された直後、DOSの画面が表示されます。ここでF9を押します。

\* F9は専門家による設定を復元する際に使用する一般的なホットキーです。ホットキーが機能しない場合は、コンピュータのメーカーに問い合わせてください。

3. メニューには、「RESTORE(復元)」「データの復元」、「ABOUT(バージョン情報)」「XR3ソフトウェア関連の情報を表示」、および「REBOOT(リブート)」「復元をキャンセルしてコンピュータを再起動」の4つのオプションがあります。「RESTORE(復元)」を選択して工場出荷時の規定設定に戻すことを推奨します。



4. 次にメニューに「Restore Image(イメージを復元しますか)?」が表示されます。「YES(はい)」を選択してイメージファイルを復元してください。\* 「Image file(イメージファイル)」とは、WindowsのOSのデータをすべて圧縮した圧縮ファイルです。イメージファイルの復元により、オペレーティングシステムは工場デフォルト値復元します。



- すべての選択が終了すると、画面には「RESTORE NOW(今復元する)」が表示され、コンピュータが現在OSのデータを復元中であることがわかります。復元が完了すると、コンピュータは自動的に再起動し、工場出荷時の規定設定に戻ります。





## 付録 III サービスセンター

本付録には、T1028 シリーズ Netbookコンピュータを取り扱っている  
サービスセンターの一覧が記載されています

#### 台湾GIGABYTEサービスセンター

6F, No.136, Jien-Yi Rd., Chung-Ho, Taipei Hsien, Taiwan.

電話: +886-2-8227-6136

ファックス: +886-2-8227-6163

WEBアドレス(英語): <http://www.GIGABYTE.com.tw/>

WEBアドレス(中国語): <http://www.GIGABYTE.tw/>

#### 米国サービスセンター G.B.T. INC.

電話: +1 (626) 854-9338

ファックス: +1 (626) 854-9339

WEBアドレス: <http://www.GIGABYTE.us>

#### 中国 G.B.T. TECH. TRADING CO., LTD.

WEBアドレス: <http://www.GIGABYTE.com.cn/>

シンセン

電話: +86-755-8240-8099

ファックス: +86-755-8240-8066

寧波

電話: +86-574-86869292

ファックス: +86-574-86860781

北京

電話: +86-10-62978099

ファックス: +86-10-62980499

廣州

電話: +86-20-38491240

ファックス: +86-20-38491140

上海

電話: +86-21-57638748

ファックス: +86-21-57638320

西安

電話: +86-29-85531943

ファックス: +86-29-85519336

#### ドイツ

電話: +49 40 25330433

住所: BULLENKOPPEL 16 22047 HAMBURG

#### ギガバイトノートブックサポートセンター

電話番号: 0570-001081 (通話料はお客様負担となります)

住所: 東京都大田区中央2-17-8

営業時間: AM10:00~PM18:00

月曜日から金曜日(土曜、日曜及び祝日は休み)

## 保証条項

1. GIGABYTEの製品保証は、販売店が発行した請求書に記載された日付から始まります。法律上の権利と所有権を保護するために、この請求書を適切に保管する必要があります。
2. さまざまな製品の保証期間を確認するには、GIGABYTEの関連するWebページ:<http://service.GIGABYTE.tw/>にアクセスしてください。販売店は、提供または販売した製品の保証について責任があります。
3. ビジネスパートナーが販売または再販売した製品の保証の開始日は、条項2に従って決定されるものとします。
4. この保証はプリインストールされたソフトウェア製品、OS、消耗品およびその他のアクセサリには適用されません(ギフト/ラックサック/ディスク/マウス/梱包材料など)。
5. GIGABYTEの販売店の請求書がない場合、保証期間はGIGABYTEラベルおよび製品のシリアル番号に基づいて決定されます。
6. GIGABYTEラベルまたは製品のシリアル番号がない場合、シリアル番号が製品に一致しない場合または判読できない場合、保証またはアフターサービスは延長されません。修理の必要が生じた場合、お買い上げの販売店に連絡してその方法をお尋ねください。
7. 購入日から7日以内に製品に欠陥または不具合が見つかった場合(条項11に記載された場合を除く)、お買い上げ時の梱包に入れ販売証明書を付けた状態ですべてのアクセサリを含む製品を新製品と交換するように購入店に要求することができます。上記のどれかが欠けている場合、欠陥または不具合は修理で対応させていただきます。  
※販売店が即納可能な代替品を在庫していない場合、直ちに代理店に代替品の有無を問い合わせる必要があります。
8. 人的過失により新製品の外観が損なわれた場合、GIGABYTEに新製品との交換を要求することはできません。
9. 修理のために送り返す製品はご購入時の梱包材料、または適切な材料を使用して梱包される必要があります(例えば、段ボール、エアバッグまたはポリフォームなど)。不適切な梱包により輸送中に損傷した場合、GIGABYTEでは保証サービスを提供いたしません。
10. 保証期間中に修理のために返送された製品を修理できない場合、GIGABYTEは同等の新製品と交換いたします。
11. 次の理由で製品が故障または破損した場合、この保証は無効となります。
  - (1) 自然災害、事故または人的過失
  - (2) 製品のユーザーマニュアルの取扱説明書に違反した
  - (3) 取り付けサービスによる不適切な組み立てまたは要求
  - (4) 不正アクセサリの使用
  - (5) 許容されない環境下での製品の使用
  - (6) 未承認の分解
  - (7) 乱用
  - (8) 配線または部品の酸化
  - (9) テスト装置としての製品の使用(RAM、VGA、USBテストなど)
  - (10) コンピュータウイルスに起因する問題または故障
12. ご注意ください。修理のために製品を送り返す前に、重要なデータのバックアップをお取りください。GIGABYTEは製品の修理とテストにのみ責任を負うものとし、データバックアップなどのサービスは提供いたしません。GIGABYTEは修理中のデータ損失に対して責任を負わないものとします。

